様式Ｒ－５（全川キャンVer.）

「全国一斉１万人・川の流れ体験キャンペーン」活動記録

（NO.　　）

開催場所	京都府南丹市美山町荒倉
開催日時	平成 23 年８月 21 日
河川名	由良川　（由良川水系）
実施団体	近畿子どもの水辺ネットワーク
参加人数	子ども　　名　／　大人　３　名　／　指導者　２名

◎活動内容（簡潔に。写真１～２枚入れてください。）

前線の南下により当日早朝から雨天で、気温も低かったためイベントは中止としました。

しかしながら、川自体は増水もなく、水も澄んでおり、雨も小降りになったため、スタッフのみで様子をみながら川下りを実施しました。

◎参加者コメント

・きれいな由良川での、川底を見ながらの川くだりは、最高に楽しかったです。
　子どもたちにもこんな経験を是非させて上げたいものですね。

・川流れでは、少し水を飲んでしまいました。鼻にも少し入ってツンとした違和感を抱きましたがすぐもとにもどったので続けて川流れを楽しむことが出来ました。川底を見ながらの体験は、魚をたくさん見ることが出来、思いの外楽しめることが出来ました。機会があればまた体験しようと思いました。

・初めてライフジャケットを着用しての川流れを体験しました。リーダーやインストラクターの指示に従いライフジャケットをしっかり着用し，安全な箇所を選んでいただき流れていきました。最初は緊張し

て体が硬くなりましたが，教えていただいた体勢をとることにより気持ちよく流れることができました。

・ライフジャケットを正しく着用することにより，安全に川流れ川遊びができることが分かり，貴重な体験となりました。　また，機会があれば是非参加したいと思います。

◎実施団体コメント

川下りの行事については悪コンディションを予想し、中止にしましたが、現地で状況をみながら当日スタッフで川流れを行いました。中止やスタッフで実施した経緯について、今後の参考として整理しています。

１．「川流れ活動」当日の中止の判断（当日７時時点）をした根拠

①当日早朝（６時）から天候の情報収集

・現状の天候確認（夜明け前から降雨継続中）

・今後の気象予報（TV の気象予報（当日の天気は雨））

・携帯ネット情報の.レーダーエコー状況の情報（強いエコーの襲来の可能性有り）

②現地の河川状況確認

・川流れ地点まで行く所要時間が無く確認が不可能。（当日の参加者が大阪等から参加の為、現地到着の３時間前の７時には判断が必要）

上記の状況から当日の「川流れ」は中止とし、連絡等の対応をとった。

２．その後「川流れ活動」を条件付で実施と判断（当日 10 時時点）をした根拠

①「川流れ」の現地に移動し、再度天候の情報収集

・降雨は小康状態で、空が明るく変化してきた。

・TV やネットの降雨エコー情報では、今後２時間程度は当該流域に近づくエコーは無い。

②現地の河川状況確認

・現地の川の状況（水位、流速、濁り、流下物）は、前日の下見時（平常）と変化無し。

③制限条件（早朝からの降雨の影響・気温が低い・今後の降雨の可能性有り。）

・川流れは、区間を少し短くし、終了時間を早める（約 30 分）。

・急変に対応可能な様に一団の体制で行動し、かつ川流れの経験を有する者（スタッフ）のみで実施する。

・安全管理（参加者の健康状況確認・準備体操、先頭者（当該河川の熟知者）・最後尾者の任務の確認、流れ区間の危険個所の周知、川流れの姿勢、装備の点検、天候・河川状況の変化の監視）を徹底する事とした。

以上の条件により、「川流れ活動」を実施する判断をした。

・　事故もなく全員無事に「川下り活動」を終え、貴重な体験（中止・実施の判断や安全管理体制の再考及び川下り体験）を得る事が出来た。

以上